

厚労省助成金「人材育成支援コース」

モノづくり企業の皆様

工程管理は正しい標準時間が前提、無い工場は「無管理」

「作業標準/標準時間設定講座」の募集

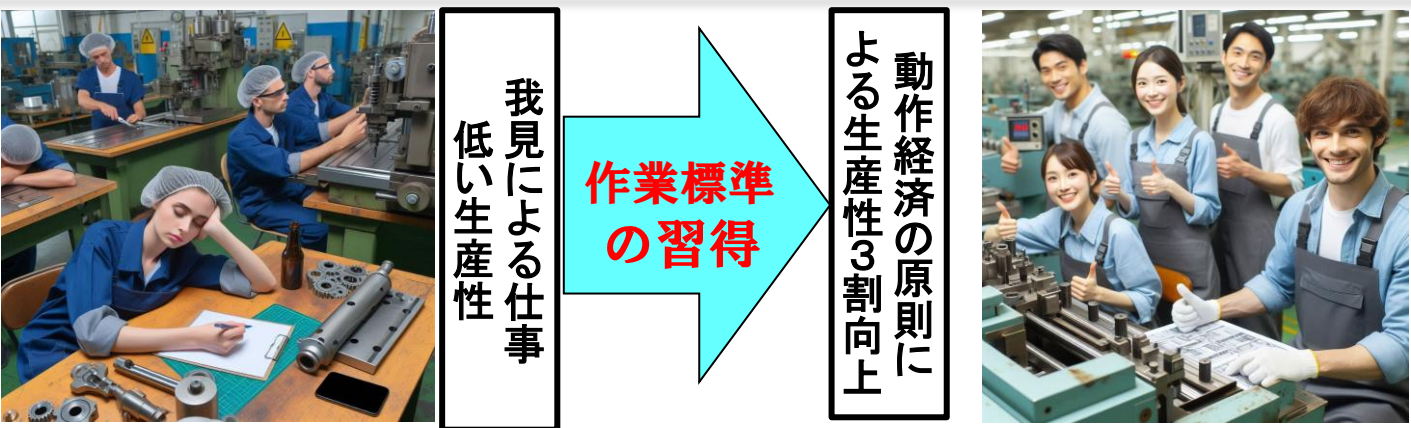
この講座で習得できることは

(注)

3日間16時間の実習&講義と1年間の大先輩の助言で

生産性を3割向上

させる作業標準/標準時間設定技術です



(注)大先輩SEとは、今回の講師で1年間、ご質問に助言します

講座カリキュラム 日時：2026年 3/9（月） 3/16（月） 3/25（水） 3日間

1 回 目	<b>DX推進のための管理技術及びデジタル技術習得</b>  (工程管理のDX)  ※時間：13:00～17:00	①工程管理の目的・課題 ②管理方式とデジタル技術の説明 (作業指導、作業指示、作業標準・標準時間設定の各方式) ③工程管理のDX成功例と業務フローとデジタル技術 (製造計画－作業指図－実績－作業指導とデジタル技術) ※受講企業ごとの工程管理のDXの推進と、それを支える管理技術の適応方法を習得する 作業標準／標準時間が無い職場に工程管理は存在しない事の認識が重要！！
2 回 目	<b>業務毎の管理技術 実習1（模型）</b> (作業標準／標準時間の設定の実習)  ※時間：10:00～12:00 13:00～17:00	①IEの基礎知識を学習し「レゴブロック」を組立ることによって、「作業標準」の効果を実感する ②標準時間の設定を学び、ICTによる作業指導を学ぶ ③自社の対象工程を選択し、「熟達者の作業の録画」を学び自社で録画する ※IEの知識が、生産性を20～50%高める事を体感する事、作業標準の設定方法と標準時間の設定を学び、ICTによる作業指導を学習する（作業分析ソフトの利用の仕方を演習する）
3 回 目	<b>業務毎の管理技術 実習2（自社工程）</b> (作業標準／標準時間の設定の実習)  ※時間：10:00～12:00 13:00～17:00	①受講企業毎の「録画された作業手順」を「作業分析ソフト」で動画分析する ②問題点の抽出と改善の演習 ③作業標準／標準時間の設定及び動画マニュアルの作成方法の演習 ※自社の対象工程を教材として、作業標準／標準時間の設定方法を学ぶ

受講対象者

・経営者・役員及び後継者

・実務経験3年以上

受講形態

: ZOOM同時双方向型講座（定員10名）

受講料

: 200,000円(税別)/人（申請により受講料の助成がされます。添付P2ご参照）

中小企業は 受講料の51%の助成金（実質受講料 108,200円）

大企業は 受講料の33%の助成金（実質受講料 147,600円）

申込締切日

: 2026年 2 月 9 日（月曜日）（助成金締切日）



# お申込みはこちら

<https://kan-lab.com/contact-hyojun-jyuku>

または、メール「[asguide@kan-lab.com](mailto:asguide@kan-lab.com)」宛に申込可能です

また、FAXでお申込みの場合は、必要事項をご記入の上、「0798-55-8779」へFAX送信ください。  
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。  
申込締切日 2026年 2月 9日(月)

## 参加ご希望記入欄

貴社名(必須)	ふりがな		
ご住所(必須)			
TEL(必須)		FAX	
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			

### 【お客様の個人情報の用目的】

お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。

また、第三者にこれを開示することはいたしません。

お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー(<http://www.kan-lab.com/policy.html>)に基づき、適切に管理いたします。

☐ 同意する

## 【本講座の特徴】オンライン同時双方向型セミナー

現行の標準時間は  
間違った時間です



### 受講者の熱意にお応えします！(補講)

- ・希望者への復習の実施 落ちこぼれZERO！
- ・受講者の希望に応じて休日・深夜補講対応します

### ライブで質疑！ライブで演習の進捗指導！

- ・講義中に課題の進捗をチェックし、お声を掛けます

### 聞きのがした講義はいつでも視聴可能

- ・聞きのがした講義は、ホームページから再生可能

### 「質問シート」は、あなたの一生のメモ

- ・受講者の質問履歴、回答履歴は永久検索
- ・受講後も1年間の質問・助言を受け記録できます

### 大先輩SEからの助言

- ・今回の講師が1年間、ご質問に助言します
- ・必要に応じてZOOMでの面談も可能です

### 毎回受講者が抱える課題を解決

- ・受講者が抱える課題を講師に問い掛け、講師は解決BPR事例(700社)から解決策を提示します

参考HP: [厚労省助成金「人材育成支援コース」](#) [「事業展開等リスクリング支援コース」](#) 不明点はお気軽にお問い合わせください

- ①「人材育成支援コース」 : 社員の既存業務のスキルアップや社員研修を充実させる為の研修
- ②「事業展開等リスクリング支援コース」 : 新規事業の立ち上げ等の事業転換に伴う人材育成業務効率化に取り組むデジタルに対応した人材育成

※P1の「実質受講料」は、①項を申請した場合の受講料です。②項の場合は実質受講料が下がります。